



水いぼの痛くない取り方



水いぼは半年から 1 年ほどの経過で必ず自然治癒します。大人で水いぼのある人がいないのが、何よりの証拠です。水いぼのウイルスは病原性が極めて弱く(からだには悪さをせず皮膚につくだけ)、免疫反応が起きにくいために、このような長い経過を必要とします。自然治癒を待つ、つまり何もせずに放置するのがベストです。しかし、水いぼがどうしても気になる方(皮膚につくので目立つだけですが)、保育所や学校が無理解でプールに入れてもらえないのでどうしても取りたい方には(水いぼはプールの水ではうつりません。プール禁止は無意味です)、スピール膏(元来は「うおのめ」の貼り薬)を用いた「痛くない」「家庭でできる」方法をお勧めします。



(1)水いぼの上をポピドンヨード液(イソジン, ネオヨジン)で消毒します。(* 雑菌が感染するのを防ぐために必ず消毒してください。)

(2)水いぼの大きさに切ったスピール膏を貼り付け, 小さく切った判創膏でとめます。(* スピール膏が大きすぎると健常な皮膚を痛めてしまうので, 水いぼよりもちょっとだけ大きくなるようにスピール膏を切ってください。 * スピール膏ははがれやすいので, 絆創膏でとめてください。ドラッグストアで売っているスピール膏には固定用のリング状絆創膏が付いているので, これを使うとはがれにくくなります。)

(3)2-3 日そのまま貼りっぱなしにします。(* 入浴時もはがさないでください。 * スピール膏は寝ている間にパジャマでこすれて取れたり, 遊んでいる間に取れてしまうことがあります。この場合には, 再度(1)(2)(3)をやり直してください。)

(4)2-3 日経つと少し痒くなります。(* 痒くなるのはスピール膏によって皮膚に少し炎症が起こるからです。心配ありません。)

(5)スピール膏と絆創膏をはがします。水いぼの上の皮膚がふやけて白っぽく変色しているはずですが, 小さい水いぼであれば, スピール膏をはがす時に一緒に取れてしまいます。スピール膏をはがしても水いぼが残っている場合には, 爪で引っ掻くか, つまめば取れてしまいます。(* うまくふやけない場合には(1)(2)(3)(4)(5)を繰り返してください。 * 大きくて水いぼがつぶれない, 内容物が十分に取れない場合には, ピンセットで取りますので受診してください。痛みはほとんどありません。)

(5)水いぼが取れたあとは, ポピドンヨード液(イソジン, ネオヨジン)で消毒し, バンドエイドなどで保護します。(* 雑菌が感染するのを防ぐために完全に乾くまで必ず消毒してください。)

(6)1-2 日くらいで乾いた状態になり, 治療は完了です。



スピール膏による方法は「痛くない」「家庭でできる」という利点があります。全部取り切ったつもりでも再発することがありますが, その場合にも家庭で簡単にできます。



診療所, 病院で水いぼをピンセットでつまむのはやめた方がいいでしょう。ピンセットでつまむと言いますが, 実際につままれる子どもはすごく痛いです。どこかにウイルスが残っていると再発して, またつまむハメになります。



子どもの立場になれば, 自然治癒(=何もせず放置する)がベストです!!